



平成18年2月3日

上場会社名

株式会社 本郷

(コード番号: 3425 JASDAQ)

(URL <http://www.hongo.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長・CEO 今田 静雄

責任者役職・氏名 取締役専務執行役員管理本部長 大月 悦次

(TEL: (048) 421-4661)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 当社は、中間(連結)財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年9月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年10月1日～平成17年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年9月期第1四半期	7,034	(15.4)	534	(74.3)	889	(76.8)	673	(83.0)
17年9月期第1四半期	6,094	(7.0)	306	(△7.7)	503	(10.0)	368	(114.4)
(参考) 17年9月期	24,227		1,070		1,946		1,406	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年9月期第1四半期	98	54	—	—
17年9月期第1四半期	53	12	—	—
(参考) 17年9月期	204	62	—	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年同四半期に対する増減率であります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当四半期における当社グループを取り巻く経済環境は、国内においては、素材価格の高止まりの影響が懸念されるものの、個人消費が上向き始め、企業においては設備投資が活発化するなど、本格的な景気拡大局面にありました。

自動車業界におきましては、北米においてビッグスリーの低迷が傘下部品メーカーの経営危機を招くなど、過去に例のない苦しい状況を呈しているなか、日系メーカーは、低燃費性能がエンドユーザーから支持され、シェア拡大傾向にあります。中国は、2005年の自動車生産が前年比12.7%増加するなどいまだ市場が急成長を遂げていますが、いずれ訪れる市場の安定成長期を前に世界の全自動車メーカーがシェア拡大を図る激戦地となっております。インドにおいては、市場の将来性が注目される中、自動車メーカーの工場増設、自動車部品メーカーの進出が相次いでおります。

このように世界各地で競争が激化するなか、当社は自動車業界のグローバル化に対応したリソースの確保等経営基盤の拡充と生産・開発・管理の各分野の質と効率のアップを図り、もって企業競争力を向上させるために、同業の自動車骨格部品メーカーである株式会社ヒラタと合併契約を締結し、平成17年12月16日開催の当社定時株主総会において合併契約書が承認されました。

当四半期の経営成績は、売上高は、モデルチェンジ車向けの金型・溶接設備の出荷が当四半期から増加し、それに伴い前年同期に比べ金型・溶接設備の売上が増加したことなどから7,034百万円(前年同期比15.4%増)、経常利益は、国内において生産性向上とコスト削減に努め、また海外の持分法適用関連会社からの持分法による投資利益が増加したため889百万円(同76.8%増)、当四半期純利益は673百万円(同83.0%増)となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年9月期第1四半期	30,605	12,780	41.7	1,876 98
17年9月期第1四半期	26,266	10,323	39.3	1,513 84
(参考) 17年9月期	27,680	11,750	42.5	1,725 61

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年9月期第1四半期	1,256	△1,002	557	1,322
17年9月期第1四半期	228	△1,177	1,458	741
(参考) 17年9月期	3,101	△2,947	93	504

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は前年第1四半期に比べ4,339百万円増加し、30,605百万円となりました。これは、海外売掛債権の回収により手元資金が増加したこと、及びモデルチェンジに向けて仕掛中の金型を多く保有したことにより有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

株主資本は前年第1四半期に比べ2,456百万円増加し、12,780百万円となり、株主資本比率は41.7%となりました。これは、保有株式の時価の上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したこと、及び第1四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、持分法による投資利益が348百万円、たな卸資産の増加額が802百万円となったものの、税金等調整前第1四半期純利益878百万円、仕入債務の増加額1,206百万円等により、1,256百万円の資金を得ました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出991百万円等により、1,002百万円の資金を支出しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が269百万円となったものの、短期借入金による収入が882百万円となり、557百万円の資金を得ました。

○添付資料

- 【要約】四半期連結貸借対照表、【要約】四半期連結損益計算書、
【要約】四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

以 上

[参考]

平成18年9月期の連結業績予想（平成17年10月1日～平成18年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	15,692	1,326	700
通期	—	—	—

(参考) 1株当たり予想当期純利益(中間期)101円82銭

[業績予想に関する定性的情報等]

国内における生産性向上と金型の内製化の拡大に伴うコスト削減効果等を考慮した結果、中間期の連結業績予想を前回発表数値から上記のとおり変更いたします。なお、売上高及び当期純利益についてはほぼ計画通り推移しております。

当社は平成17年12月16日開催の定時株主総会において、平成18年4月1日を期日として株式会社ヒラタと合併することが正式に承認されましたので、業績予想は中間期のみ記載しております。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○ 添付資料

1. 【要約】四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年9月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成17年9月期 第1四半期末)		増 減 金額	(参 考) 平成17年9月期	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		金額	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産	9,755	31.9	7,660	29.2	2,094	8,035	29.0
II 固定資産	20,849	68.1	18,605	70.8	2,244	19,644	71.0
資産合計	30,605	100.0	26,266	100.0	4,339	27,680	100.0
(負債の部)							
I 流動負債	11,958	39.1	9,932	37.8	2,026	9,752	35.2
II 固定負債	5,818	19.0	5,972	22.8	△153	6,129	22.2
負債合計	17,777	58.1	15,905	60.6	1,872	15,881	57.4
(少数株主持分)							
少数株主持分	47	0.2	37	0.1	9	47	0.1
(資本の部)							
I 資本金	1,353	4.4	1,353	5.2	—	1,353	4.9
II 資本剰余金	555	1.8	555	2.1	—	555	2.0
III 利益剰余金	10,324	33.7	8,729	33.2	1,595	9,716	35.1
IV その他有価証券評価差額金	1,121	3.7	751	2.9	370	1,047	3.8
V 為替換算調整勘定	△573	△1.9	△1,064	△4.1	491	△921	△3.3
VI 自己株式	△0	△0.0	△0	△0.0	—	△0	△0.0
資本合計	12,780	41.7	10,323	39.3	2,456	11,750	42.5
負債・少数株主持分及び資本合計	30,605	100.0	26,266	100.0	4,339	27,680	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 【要約】四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年9月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成17年9月期 第1四半期)		増 減 金額	(参 考) 平成17年9月期	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)		金額	百分比 (%)
I 売上高	7,034	100.0	6,094	100.0	940	24,227	100.0
II 売上原価	5,878	83.6	5,209	85.5	668	20,611	85.0
売上総利益	1,155	16.4	884	14.5	271	3,616	15.0
III 販売費及び一般管理費	620	8.8	577	9.5	43	2,546	10.5
営業利益	534	7.6	306	5.0	227	1,070	4.5
IV 営業外収益	372	5.3	262	4.3	110	1,018	4.2
V 営業外費用	17	0.3	65	1.1	△48	142	0.6
経常利益	889	12.6	503	8.2	386	1,946	8.1
VI 特別利益	—	—	0	0.0	△0	10	0.0
VII 特別損失	11	0.2	50	0.8	△38	122	0.5
税金等調整前第1四半期 (当期)純利益	878	12.4	453	7.4	424	1,834	7.6
法人税等	205	2.9	83	1.4	121	418	1.7
少数株主利益(△)又は損失	1	0.0	△1	0.0	2	△8	0.0
第1四半期(当期)純利益	673	9.5	368	6.0	305	1,406	5.8

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 【要約】四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	当四半期	前年同四半期	(参考)
	(平成18年9月期第1四半期)	(平成17年9月期第1四半期)	平成17年9月期
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,256	228	3,101
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,002	△ 1,177	△ 2,947
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	557	1,458	93
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△ 26	△ 1
V 現金及び現金同等物の増減額	818	483	245
VI 現金及び現金同等物の期首残高	504	258	258
VII 現金及び現金同等物の 第1四半期末(期末)残高	1,322	741	504

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報及び所在地別セグメント情報

全セグメントに占める割合が90%超であるため、その記載を省略しております。

(2) 海外売上高

当第1四半期(平成18年9月期)

(単位：百万円)

	北米	アジア	その他	計
I 海外売上高	2,293	248	54	2,596
II 連結売上高	—	—	—	7,034
III 海外売上高の連結売上高に占める割合	32.6 %	3.5 %	0.8 %	36.9 %

前年第1四半期(平成17年9月期)

(単位：百万円)

	北米	アジア	その他	計
I 海外売上高	788	1,050	57	1,896
II 連結売上高	—	—	—	6,094
III 海外売上高の連結売上高に占める割合	12.9 %	17.2 %	0.9 %	31.1 %

- (注) 1. 各表の地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各表の各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。
 (1)北 米・・・米国、カナダ
 (2)アジア・・・インド、中国
 (3)その他・・・イギリス
 3. 各表の海外売上高は、当社及び子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 4. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。